

群馬県民のコメの購入に関する調査

群馬経済研究所 主任研究員 丸岡美智世

調査のポイント

コメ※の小売販売価格が上昇している状況下で、群馬県民を対象に、コメの購入について調査した結果をまとめた。

要約

- 2024 年の夏以降、コメの価格は上昇し、2025 年 4 月に入っても高値が続いている。
- 当研究所で調査した結果、コメを自宅で炊いている世帯は 9 割に達し、その多くがスーパー等の店舗でコメを購入している。購入する店舗の選択基準は「価格の安さ」とする世帯が多くみられた。
- コメの価格上昇を理由に、以前より「購入量を減らした」世帯が約 3 分の 1、「安価な銘柄に変更した」世帯が約半数にのぼった。「購入量を減らした」世帯では麺類やパン類の購入を増やす動きがみられた。コメの購入量を減らし、かつ安価なコメに変えた世帯は約 4 分の 1 にのぼった。
- 今後について、コメの価格上昇と供給状況について、不安を感じている世帯が約 4 分の 3 にのぼった。また、価格上昇を受けて、購入するコメを「特定の安価な銘柄に変更した」世帯では、今後、昨夏以前の水準にコメの価格が低下したとしても「以前の銘柄に戻す」とした世帯は半数にとどまった。
- コメの価格上昇や供給状況に関して不安を持つ意見が多いことから、政府には、天候不順等不測の状況も加味し、コメが安定した価格で供給される環境を整備することが望まれる。